

名古屋経済大と犬山市



観光パンフレットを母国語に翻訳した留学生たち＝犬山市の名古屋経済大で

観光PRに留学生ひと役

光案内板も翻訳監修した。
ベトナムから留学中の経済学部3年、グエン・ニュー・

犬山市の名古屋経済大の外国人留学生が、母国語で同市の観光パンフレットやPRビデオを作製した。外国人観光客の誘致を目指す同市に協力しようと、留学生から見た市の魅力を発掘し紹介している。20日、作製した関係者を同大に招き、完成報告会が開かれた。

4カ国語で紹介ビデオ、翻訳パンフ

クイン・アインさんが作製したPRビデオがきっかけになり、ホーチミンテレビのスタッフが犬山市を訪れ撮影した観光ビデオが、ベトナムで放送された。パンフレットを翻訳した台湾の留学生、ライ・ポーユさんは「台湾の文化にはないウ飼いや犬山祭りの山車などをどう伝えるか難しかった。苦労したおかげで犬山がより好きになりました」と話している。

同市は年間500万人の観光客が訪れるが、外国人はまだ少ない。同大国際交流室の金村久美室長は「留学生から見た観光地の魅力をSNSなどで母国に向けて発信してもらうことで、犬山市の知名度が上がることを期待したい」と話している。【花井武人】